

平成30年度 第2回公民館運営審議会会議録

日 時 平成30年 1月25日 (金)
午前10時00分から午前11時00分まで
場 所 市役所 東館3階 教育委員会室
出席者 神谷委員、中野委員、魚住委員、三輪委員、都築委員、黒田委員、小崎委員
事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、課長補佐、担当係長、担当
欠席者 斎藤委員

司会進行 課長補佐

1 委員長あいさつ

2 教育長あいさつ

委員長が議長となり議題の進行を行う

3 議題

(1) 平成30年度前期公民館事業について、事務局より説明

委員 「わたしにもできる！未来を変える、本当に体に良い食事」がとても好評だったようで、継続してやって欲しいという意見に対して、同じ講師で継続していく計画はあるか？

事務局 アンケートの結果は大切にしたい。講師の都合もあるが、要望が多ければ第2弾も考えていきたい。

委員 講座によって色々な年代の人が参加していていいと思う。日本語教育の講座に定員20名のところ30名の応募があったことに驚いた。参加者も男性が半数で会社員もいて、初めて講座に参加した人が特に多かったが、集団で参加しているとか何か要因があったのか。

事務局 ピンポイントに豊明市国際交流協会に声をかけ、チラシを配布した。3分の1程度が豊明市国際交流協会のメンバーの参加だった。他にも名古屋のトワイライトのスタッフの男性の参加もあった。

委員 ・アンケートの「今後参加したい講座」の回答で、科学と政治のテーマが非常に少ない。その結果を受けて、テーマを排除するのか、考えて組み込んでいくのか聞きたい。逆にダントツに多いテーマが、健康と子育て。講座のバランスはどうするのか。
・「受講開設希望時間」の回答は、土曜日が多い。昔は平日の午前が多かったが、最近要望が変化している。主婦が土曜日の午前午後に参加できる

のは、随分時代が変わったと感じる。講座の開催を土曜日にしていくと、たくさんきていただける講座になるのではないか。

- 事務局
- ・科学、政治は確かに関心が薄い。講座の参加状況をみて市民のニーズのマッチ度を判断しがちだが、それを考慮すると健康や子育ての分野に偏ってしまう。公民館の位置づけとして、全般的に各種事業を行って皆さんの教養を高めていただくことが趣旨である。大学市民講座は学校の特色を活かした講座を企画できるので、そういったところで関心の薄い講座をフォローしていきたいと考えている。
 - ・開催日は、基本的に土曜日に開催している。時代が変わって、共働きが増えて専業主婦が減ってきたし、70代まで働く時代になってきた。それを加味し、土曜日の午前午後がよければ、その日程でなるべく講座を組んでいきたいと考えている。
- 委員長
- ・色々考えて講座が組まれていると思う。確かに土曜日は講座に参加しやすい感じがする。老人クラブに所属している人などは、平日の午前が参加しやすい場合もあるが、講座の参加状況や時代の流れを考え、土曜日を中心にして開催するのがいい。テーマによっては少しの受講生の講座でも、いずれ生きてくるというように思えば、結構大事な講座であると思う。
 - ・講座受講状況を見ると、以前よりも受講する年代が広がっているのがよい。子どもと保護者の講座の受講生の参加が少ないのがもったいないと思う。もっと親子講座の参加が増えるとよい。

(2) 平成31年度前期公民館事業について、事務局より説明

- 委員長 至学館大学の「からくり人形」講座のターゲットに、文化継承団体とあるのはどういうことか。
- 事務局 至学館大学からの要望で開く講座で、文化継承団体への周知の要望もあったため記載しているが、一般の人でも参加できる講座である。参加者はターゲットに限ったものではない。
- 委員 それぞれの講座にターゲットがあるのはいいが、ターゲットが絞られている時の募集方法はどうするのか。全体の募集はチャレンジ2019後期のチラシがあるからよいと思うが。
- 事務局 募集をする時にはターゲットを絞らず、広く一般を受け入れられる募集にする予定で、企画者側の思惑としてターゲットを設定している。その他重点的に周知したい講座は、別にチラシを作って配布しており、その時に、このターゲット層に届くように考えている。

- 委員 募集方法を間違えるとなかなか集まらない。せっかくターゲットを絞ったなら、そこに届く周知を考えてほしい。
- 委員 「気象予報士」講座で200人募集して、どうやって受け付けるのか。抽選ならいいが、先着順だとはがきの申込みの人がインターネット申込みの人より不利になる。例えば、家族4人で申し込んだ時の決定方法はどうか。
- 事務局 他の講座と同じ受付方法を考えている。ただ決定人数が多いと事務作業も増えるため、申込期限を少し早めに設定するなどの対策は取っていききたい。募集定員の200人を超えたら抽選ではなく、300人を収容できる会場なので300人を超えたら抽選を行う。
- 委員 それだけ多くの人に来てもらえたら嬉しい。将来もっと増えたら、2回に分けて講座を開催するとか。
- 委員長 ・有名で面白い講師だ。馴染みのある雰囲気がい。子どもはもちろん、一般人も行くかなと思うと思う。石橋さんや玉屋庄兵衛さんなどの有名な人を呼ぶ時は、なかなか身近で話できる機会がないので、好きな人がたくさん集まると思う。
・ターゲットは募集チラシに掲載するか。
- 事務局 掲載しない。
- 委員長 ・それならよい、高齢者と書かれると気分よく感じない。
・大学講座についても、今までにないようななかなか面白い講座が多く、たくさんの方が応募されると思う。期待したいと思う。

(3) 平成30年度公民館まつりについて、事務局より説明

- 委員 担当者のやる気が感じられる内容。楽しく開催できると思う。
- 委員長 作品展示の「冊子」とはなにか。
- 事務局 内容は「ペンの輪」という文章を研究しているサークルが、自分たちで執筆した文章をまとめて冊子にして展示する。文集名を掲載しても分かりにくかったため冊子とした。
- 委員 冊子でも分かりにくい。
- 委員長 サークルの人に、どんな形で掲載したら分かるか聞いてみるとよい。
- 委員 冊子は、装丁とは違うのか。表紙作りや本全体の外形を作るサークルか。
- 委員 文章の書き方を考えるサークルである。
- 委員 書き方なら、その書き方の流れとかが展示された方がよいのではないか。
- 委員 パネル展示などで掲示すればよいのではないか。
- 委員 委員長の言ったように、サークルに相談してみてもどうか。

事務局
委員 サークルの代表は例年通り、冊子を置くだけでいいと言っている。
置くのはいいが、冊子が出来上がった一連のプロセスを書いてもらった
方がよいと思う。突然冊子が置いてあっても分からないだろうから。

事務局
委員長 もう一度、頂いた内容をサークルに相談してみる。

事務局
委員長 作品展示の「など」には、その他に展示されるものはあるのか。

事務局
委員長 「など」と書いてあると、たくさんありそうに見える効果がある。

事務局
委員長 個人的には、公民館まつりには絵を見に行きたかったが、記載がなかつ
たので「など」の中に含まれているのかと思った。そう思って来てもら
えればいいのかもかもしれない。

事務局
委員長 「など」の中には、放課後子ども教室の子ども達の作品が含まれている。
色々、前年度と違う取り組みが見られる。成果が上がったことは継続し
て、上手くいくように期待をしたい。

(4) その他について

事務局 平成31年3月31日で委員の任期が終了する。委員の皆さんの意見が
生涯学習の事業に活かされているので、引き続き委員をお願いしたい。

委員長 継続できない場合は、生涯学習課へ申し出ること。
これで審議会を終了します。